

佐倉市議会報告



佐倉市議会議員

井原 慶一

長く勤めた市川市職員生活を終え、昨年の統一自治体選挙に挑戦して初当選させていただきました。今回は佐倉市の地域報告をいたします。

1. はじめに—佐倉市について

上野駅から京成電車で揺られ、小一時間ほどすると左手の窓から印旛沼の広い水面が目に入ります。その印旛沼が途切れたところにオランダ風車が現れます。ここが、毎年4月に行われる「チューリップまつり」が行われる『ふるさと広場』です。

やがて、鹿島川の鉄橋を渡ると今度は右手の丘上（旧佐倉城址）に国立歴史民俗博物館が威容を現し、続いて船のような建築物が見えてきます。これが佐倉市役所の庁舎（著名な建築家黒川紀章氏設計）で、船の舳先^{へさき}の部分にあたるところが議会棟です。

J R線の東京駅からであれば快速電車で1時間。鹿島川の鉄橋を渡り、トンネルをくぐると北側に赤いベイシア（ショッピングセンター）の建物が見えます。その後ろにある丘上（鹿島が丘）に国立歴史民俗博物館（佐倉城址公園内）があり、更に赤い屋根と白亜の壁の市立美術館（旧佐倉市役所跡地）のおしゃれな建物と、ついでその右手に旧藩主の別邸跡に立つ佐倉厚生園（病院）の白い建物が見えてきます。

世界的名画が展示されている川村記念美術館にも、駅から送迎バスが出ており、無料で行くことができます。

（市勢）

佐倉市は千葉県の北部中央に位置する城下

町です。1955年（昭和30年）4月1日に市制を施行し、現在の人口は17万2千人、面積は103.59平方kmです。

主な産業は、農業でしたが、高度成長時代になると東京や千葉への通勤者のための団地が造成され、住宅が立ち並ぶようになりました。

また企業誘致によって工業団地もできました。市制が早かったことから、都市計画が行われ、近隣の自治体と比較すると市街化地域と農地や山林の市街化調整区域の線引きがはっきりとされた都市です。

佐倉市には千葉県印旛県民センターや千葉地方法務局の佐倉支局などが置かれ、印旛地方の行政の中心となっていますが、成田空港の開港や千葉ニュータウン・北総鉄道の開通によって周辺の都市の発展が目立ってきており、商業部門の劣勢が気になるところです。

（歴史）

鎌倉・室町時代を通じて下総守護千葉氏の勢力下であり、戦国時代には本佐倉城（酒々井町本佐倉）が築かれ、北総地域の行政・経済の中心地として発展してきました。

千葉氏が豊臣秀吉に滅ぼされた後、江戸時代初期に土井利勝が佐倉城を築き、その後、堀田氏の居城となりました。徳川幕府の東の守りとして、代々老中や大老といった幕閣の

重要人物を多く輩出し、幕末には堀田正睦（ペリー来航時の幕府大老）が蘭学を奨励したことから、明治時代になると医学界や教育界に多くの人物を排出しました。

明治初期には、佐倉県、次いで印旛県が置かれていましたが、やがて千葉県が誕生すると海に面している千葉村に県庁所在地が移りました。佐倉城址には軍隊（佐倉連隊）が置かれ、明治27年に総武鉄道（市川－佐倉間）が開業し、印旛地方の政治経済の中心として栄え、印旛支庁が置かれました。

戦後は、軍隊がなくなり、食料増産のため

に農業中心でしたが、昭和30年に佐倉町を中心に周辺の町村が合併し、佐倉市が誕生しました。

成田空港（新東京国際空港）の開港に伴い、総武快速電車や東関東高速道が整備されたことから人口が急増し、企業誘致によって工場群もあることから、比較的バランスのとれた都市ということができると思います。

ミスタープロ野球長嶋茂雄氏やマラソンの小出義雄監督などスポーツ界にも人物を輩出しております。

2. 佐倉市議会について

佐倉市議会の議員定数は28名です。地方自治法（第91条第2項第7号）の議員定数は34名ですが、議会改革の一環として昨年の統一選挙前に減数条例が成立し、市制発足以来、30名であった定数を2名減らしました。現在の女性議員の数は、8名です。

（会派）

会派の構成は、さくら会（12名）・公明党（5名）・佐倉市民ネット（3名）・佐倉市民オンブズマン（2名）・みんなの党（2名）となっており、民主党・新社会党・共産党・無所属各1名です。

議会運営に関する重要な事項は、会派代表者会議で話し合われます。急激な都市化によって都市型市民が増加し、保守勢力が衰退する中で多党化が進んでいます。

（議会運営）

不祥事の露呈と保守勢力の衰退によって、佐倉市においても中央政治と同じように「何事も簡単には決まらない」議会が現出しました。昨年4月の改選前には、多くの議案が15対14の一票差で可決されることが多く、重要な案件（決算や自治基本条例など）が否決されることもありました。

改選後においては、震災の復旧や耐震対策が急がれることから、安定した議会運営が行われることが求められています。

（各種委員会）

常任委員会は、総務・文教福祉・経済環境・建設の4つの委員会で委員数は各7名です。常任委員会の他に議会運営委員会があり、特別委員会として、予算審査特別委員会や決算審査特別委員会が設けられています。また、

議長の諮問を受けて、議会改革推進委員会と広報公聴委員会があり、議会改革や議会報告会の在り方を検討しています。

委員会では、それぞれの議案について各委員が賛否について意見を述べてから採決が行われています。

（議会改革と議会基本条例）

佐倉市では、相次いで不祥事が発生しまし

た。都市計画道路の建設予定が予定されている土地にある霊園の移転問題で多額の使途不明金が発生したことや運動公園の工事が議会の補正予算審議前に発注されたことから、当時の市長が辞任に追い込まれました。また、最近も議員の働きかけ問題が発生したことをきっかけに議会基本条例が制定されています。

3. 佐倉市の行政課題と今後

財政的に見れば、大都市への通勤者が多く、財政力指数や借金ランキングでは全国的に良い方から上位であり、比較的恵まれている部類に入ります。

現在の佐倉市にとって最大の課題は、公共施設の耐震対策です。学校や保育園等の耐震工事を前倒しにして急いでいます。また、今年度中には全ての広域避難所に防災井戸を設置することになっています。

最近では、老朽化した市庁舎の耐震が問題

となっていますが、前市長時代に市庁舎の移転問題を取り下げたことから、移転先を含めて、どうするか対応が難しい状況です。

佐倉市においても、少子高齢社会への対応や放射能汚染対策、低迷する地域経済へのテコ入れなど、問題が山積しています。

こうした状況を打開するため、今年度から副市長を2人制にして国からの移入人事によって、解決を図ろうとしています。